



とみ教室通信 7月号

～ひとりひとりを大切に～



リーディングの中には、ルーティーンを取り組んでいます。成果が出ていない人はの多くは、成功するためのルーティンではない場合が多いです。また、何かの悪習慣が邪魔をしていることがあります。それをしないのを継続する方が成功に近回りかもしれません。大きく分けると、心・技・体・生活の4バランス

統括より が大事で、心技体を司るには、生活が一番大事です。睡眠時間の量・質など見直して見てはいかがでしょうか？いよいよ危険な夏休みです。

目次

今月号のラインナップ

2 KPsystem- おやすみ！

2 「ときわ」教室開校について

5 今月のアートフラワー 第42回 マーガ

レット

今月の簡単なお知らせ

一夏期講習申し込み多数ありがとうございます。自習とうまく組み合わせましょう。



富田教室（日木休）
教室長ブログ毎週！更新予定



<http://www.kyoshins1tomida.jp/>

川越富洲原教室（日月休）
教室長ブログ 休眠？中



<http://www.s1tomida.jp/>

新しく移行したいホームページ
(校通信の記事やクイズもこちらに)



<http://s1tomida.com>



進路コラム（大学選
びなど）はこちらに
掲載

先月までのあらすじ

カザフスタンのアルマトイから中国のウルムチに国際寝台バスで向かっている私。他のお客さんは英語も中国語も通じず、私がジャポンだということは理解してもらえている。中国国境を抜けて同じバスに乗っていた子連れのお母さんについて徒歩で国境審査の建物を出てしまう。建物の外には乗って来たバスもない。国境審査の建物にはもう戻れない。最後の希望である、お母さんも知り合いっぽい人の車に乗り込もうとしている。このままでは国境の町に取り残される。そのお母さんに「ウルムチ、バス」と訴えていたら…



「私もウルムチに行く。とりあえずこの車に乗りな。」的なジェスチャーをしています。信じてそのお母さんの知り合いっぽい人の車と一緒に乗り込みます。3分ぐらい走って車が止まりました。「ここでご飯だよ」とお母さんがジェスチャーしています。よくわからないままお母さんについて建物に入ると、同じバスに乗ってきた他のお客さんもいました。



集合場所(?)の飲食店

つまりこのご飯屋で集合だったようです。そんなアナウンスいつあったんだ?というよりみんなこのご飯屋を知っていたのか?よくわかりませんが置いて行かれることなくみんなに合流できました。ホッとしていたら乗って来た車の運転手さんに呼ばれてお金を要求されました。これタクシーだったの?10元取られました。さっきのお母さんから私からも取るってそれ高くないか?中国のタクシーは初乗り10元なのに。。。



そこで食べたご飯。簡単に言えばあんかけうどん

このころには私がジャポンだとみんなわかってくれていて、店員さんにわーっと言われて私がポカーンとなっていると隣からおばちゃんたちが「その子ジャポンだから通じないよ」的なことを言ってくれています。そして私はそのおばさんが食べているご飯を指差して同じものを注文します。

ご飯を食べて近くのトイレに行ったら外に座っている髭



ご飯の後にみんなで大量の荷物をバスに乗せます。

を伸ばしたイスラム教徒っぽい人にトイレ使用料1元を取られました。ここは中国なのにカザフスタンのつもりでいるのでしょう。よく考えたらさっきのご飯屋もバスのお客さんと話ができるということはたぶんカザフ語。まだこの辺はほぼカザフスタンなのでしょう。いやカザフスタン人が経営する店を集合場所を選んだのだと思います。

トイレに行ってしばらく待っていたらようやく運転手さんが来て、ご飯を食べ始めました。運転手さんも私がジャポンだと知ってくれていて、ご飯は食べたかと気を使ってくれました。運転手さんもゆっくりして、結局このご飯屋さんで2時間待ちました。みんな国境から直でこの店に来ているので店の前に大量の荷物が置かれています。荷物が少ない私は荷物積みを手伝わされてみんなバスに乗り込みました。カザフスタン国境で2時間、中国国境で1時間、ご飯屋さんで2時間、その他なんだかんだで合計6時間で国境を越えました。

もうそんなころには日も沈み、バスに乗ったらみんなおやすみモードです。バスが出て5分もしないうちに急に電気が消され強制的にお休みモードに入られました。

私も寝不足だったのですぐにぐっすり寝ました。途中2度ほど止まって休憩をしていたようですが、私は寝ていたので詳しくはわかりません。もしかするとかなりの時間一箇所に止まって休憩していたのかもしれませんが。まあ無理して運転して事故されても困るので休憩はしっかりとってもらっていいのですが。

起きたら朝8時でした。山の中（日本の山道とは全然違い、木がほとんどない広々とした山の中です。日本にはない景色なので言葉で表しづらいです。）を走っていて、左に見えるすごく広い湖は全面凍っています。そんなすごい景色に他のお客さんは全く関心がないようで、私一人起きたすぐからテンションが上がっています。中国も何もない大地の中を走りますがカザフスタンの景色とはまた違います。もっと景色を見たいと思ってバスの前方に行ったら運転手さんが交代していました。やたら国境越えを仕切るおじさんがいるなと思っていたら、その人が今日の運転



中国側はひたすらこんな感じの風景が広がっています。



写真だとわかりにくいですが、この湖全部凍っています。日本はGWでも中国奥地の山の中はそれだけ寒いということです。



何もないと草原を延々と走ります。中国のどこらへんかもわからず景色も代わり映えしないので寝るか読書しかすることがありません。少数民族っぽい子供達は延々とスマホゲームをしていました。春頃流行っていたslither.io（スリザリオ）というゲームをしていました。子供がハマるものに国境はないなと感じました。

手でした。昨日運転していたおじさんはベッドで熟睡しています。昼夜で交代ではなくてまさかの一日交代でした。でもここで重大な事実に気づきます。このバスの所要時間は24時間。昨日の朝7時半にバスターミナルを出て現在8時。すでに25時間走行中。まあ遅れることは当然覚悟していました。しかし、8時でこの何も無い山の中。全く町の気配がない。これは1、2時間遅れでは済まない、4、5時間遅れは覚悟しないとイケません。ウルムチ→アルマトイのバスに乗った方のブログを見ても皆さん4、5時間遅れなのでそれが通常運転なのでしょう。

12時ごろバスが止まって昼ごはんです。そこもあえて選んでいるのかカザフスタン系？のお店です。メニューは漢字で私もちゃんと自分の意思で選んで注文できます。でも店員さんはバスのお客さんとコミュニケーション取れているのでカザフ系なのでしょう。カレンダーにイスラム暦が書いてありました。娘さんが早口で注文を取り、厨房ではお母さんが大きな音で麺を打ち、その奥でお父さんが火柱を上げて中華鍋を振っています。その厨房を見るだけで美味しそうです。お父さんが鍋の下のコンロ？に火ばさみで何か入れています。その正体は後で店の裏のトイレに行った時にわかるのですが、石炭です。石炭で料理していたのか！店の裏に石炭が山積みしてありました。

またゆっくりご飯を食べて、すでにバスは6時間遅れですが、この店の周りもまだまだ街はなくウルムチまでは遠そうです。そして昼ごはんの2時間後にサービスエリアに着きました。すでに8時間遅れ。ここで休憩するという事はまだ着かないということです。しかし今までにない都会的なサービスエリアですので、都会が近くなってきていることはわかります。

そしてようやく交通量が多くなりビル群が見えてきました。ゲートがありなぜかパスポートチェックをされました。ファミリーで代表が一人降りてチェックを受ければ良いみたいです。バス内をチェックされるわけでもなく、要は自己申告のチェックです。何の意味があるのかわかりませんが、スマホが故障して使えない私にとってははっきりとウルムチに入



ウルムチの国際バスターミナル。
19時でもこの明るさ。



ウルムチは普通の人には聞いたこともないような中国奥地の町ですが、めちゃくちゃ発展しています。名古屋ぐらいの都会です。



ウルムチ1番の観光名所の紅山公園の入り口。ウルムチは他民族が集まってきているようで街のいたるところでアラビア文字やキリル文字を見かけます。そしてこの写真のように習近平や中央政府と共に頑張ろうというような掲示が町中にあります。

(私は中国語を読めないなので読める漢字だけ拾って
なんとなくそういう意味じゃないかと思っているだけです。)

ったと理解するきっかけとなりました。

私はウルムチのガイドブックは持っていなくて、カザフスタンへ行く時の飛行機の乗り換えの時もらった中国語の観光の地図しかありません。スマホのマップも使えないので、外の様子とその地図を必死に見比べて現在位置を特定しようと思いました。しかしわからないままバスターミナルに着きました。

着いたのは19時、予定より12時間遅れ、アルマトイから36時間かかりました。ウルムチの19時はまだ十分明るいですが、北京とはかなり離れていますので時間は19時でも太陽の高さは16時ぐらいです。普通だったら北京とは2、3時間時差があってもおかしくないところを中国全土が北京時間に統一されています。

隣のベッドのお父さんに地図を見せて現在置を聞きましたがわからない(漢字が読めない?)ようでした。他のお客さんがトランクから大量の荷物を出している中、私はどこかもわからない町に出ました。中国は道に通りの名前もちゃんと書いてあるので現在地を特定するのは比較的簡単です。街の中心に近く予約していたホテルにも割と近かったです。

そこからはウルムチ観光をしてウルムチで一泊して、次の日飛行機で海側の福州という街に飛んでここでも一泊して日本に帰って来ました。



紅山公園は断崖絶壁の山の上にある。こういう塔が立っています。そこから見る街の景色は綺麗です。



ここは福州です。毛沢東の像の前の広場で何千人という人がダンスのレッスンを受けています。福州は中国の南の方で暑いので、涼しくなる夜の方が活動しやすいのかもしれませんが。



福州もすごく発展しています。暑いからかバイクも多いです。でも電動バイクなので音は静か。

街には高層ビルが立ち並び、去年地下鉄も開通しました。恐ろしいほどのスピードで発展しています。



←↑福州の1番の観光地の三坊七巷(さんぼうしちこう)というところです。古い町並みを残して観光地にしています。古い見た目の建物の中には観光客向けの現代風の土産物屋です。マクドナルドも目立たないように入っています。

○期末テストが返ってきました。

教室全体の平均は

中1は52.4点ダウン。中2は14.9点アップ。中3は11点アップ。

でした。

学校の平均点がわからないので、素点が上がった下がっただけでは判断できないところがあります。

中1が下がるのは予想できていましたが、今までにないほどの下がり具合です。平均点がわからないので、この下がりが大きすぎるのかどうかはまだ判断できません。

毎年の傾向としては中1の一番初めの中間は非常に簡単ですので、一番下がり幅が大きくなるのもだいたいこのタイミングです。今回の期末が今後の基準点になって行くと考えてもらった方がいいです。中3で頑張っている子でも今までの最高点は1年生の1学期中間という子がほとんどです。おそらく9割近くの子が1年の1学期中間の点が最高点のまま卒業していきます。1学期中間のような点数を取るためには、よほど努力しないとイケないと考えてください。

中2、中3は点数だけ見ると頑張ってくれました。

どの学年も1年間の中では1学期中間で一番平均点が高く徐々に下がっていく傾向があります。その中で10点以上アップは良いことです。

特に今年の中2は教室が好きな子が多く、テストの点数の提出率が非常に高く正確なデータが取れています。そのように教室に持ってくるものをちゃんと持ってくる子は点数が上がりやすい傾向があります。

○すいません、今年は夏の入室キャンペーンをしません(>人<;)

今の時期、塾業界は1年間で2番目に大きい生徒の募集シーズンです。(1番大きいのは新学期。) そのため新聞折り込み等で他塾さんの広告をいくつもお覧になった方は多いと思います。しかし当教室は生徒さんの数も定員まで後少しで例年通りの入室があると定員オーバーしてしまいます。また有竹から川島に引き継ぎもあるので、新しい生徒さんよりもまずは今いる生徒さんをしっかり見ようという方針を立てました。

そのため今年はキャンペーンをしないと決めました。毎年入れている新聞折り込みチラシも今年は入れません(これは塾としてはかなり勇気のいる決断です。普通の塾は当たり前のようにじゃんじゃん広告を出してキャンペーンをします。)

しかし定員まであと5名ほど枠はありますので、もしお知り合いの方でどなたか塾を探している方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。夏休みだけ通うということもできます。

国語力を上げるために、 今日からコツコツできること

富田教室長より



さる6月18日、名古屋で行われた京進主催の池谷先生の講演会に、富田教室の講師の先生が行ってくれて（その好奇心がうれしいです）、概要を教えてくださいました。

教育講演会 東京大学 池谷裕二教授

変わる学び、変わらない学び
～AIの進化から見えること～



トピックを絞って、下にまとめてみましょう。

ヒトにしかできないことって何だろう？

2045年までに、AI（人工知能）がヒトを超えるという説がある（池谷先生は疑問視している）

いま、AIができることは次のとおり。

- ・ AIは1～2ヶ月で言語を習得できる（通訳いらず）
- ・ AIは学んだ言語を使ってニュース記事を書ける（編集者いらず）
- ・ AIは絵画も作曲もできる（芸術分野に進出）
- ・ AIは介護もできる。心理カウンセリングもできる（気遣いや気も利く）

お遊びレベルではなく、人間に代わるレベルで。人間にしかできないと思われていたほとんどのことが、AIはできるようになってきている。

ヒトは、思い出せ、と言われても、思い出せないことが多い。

選択肢を与えて選ばせると、やっと出てくることが多い（ヒントや選択肢）。

ただ、自分の都合の良いように思い出すので、正確とは限らない（勘違いの原因）。その一方で、AI は、勘違いせず、正確に思い出せる。

・・・正確さを求められる仕事は、これからは人に任せるより、AI に任せ
た方がいいということになります。だから、この前の読んだ雑誌にはこんなこ
とが書かれていました。

グローバル化や AI の躍進などの中で、将来子どもたちを取り巻く環境は
確実に変化することが予想されます。知識の暗記だけではコンピュータに敵
わない。そのような時代で活躍できる子どもたちを育成する教育改革が始ま
ります。（『塾と教育』2017年7月号、塾と教育社）

暗記や単純作業はコンピュータの得意分野。

とすると、人間にしかできないことって・・・。

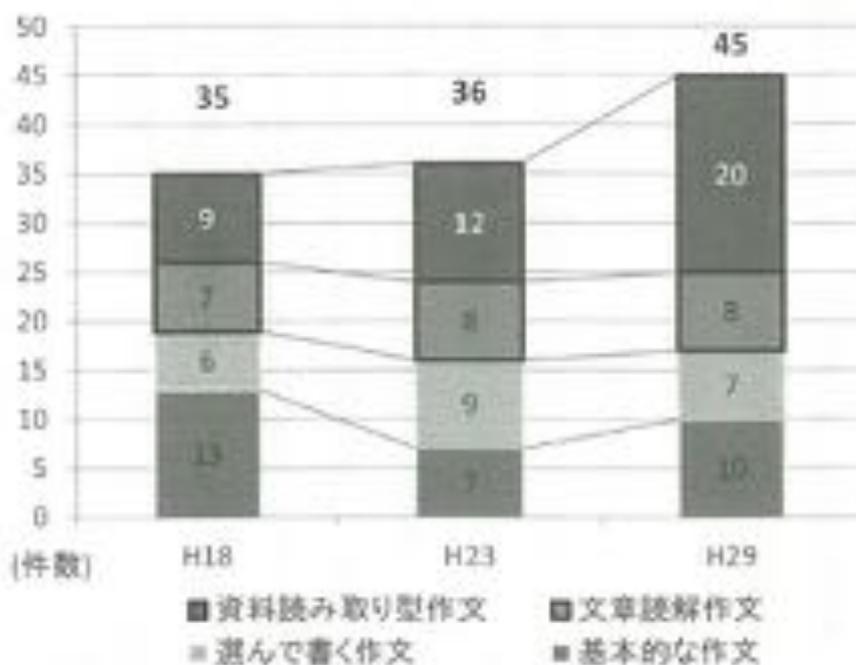
今後、論理思考が必要な分野で、多
くの仕事がコンピュータに代わられる
ことでしょう。AIを活用し、AIに代
わられないために必要なのは、能動的な
国語力によって、世界と関わる力を身に
つけることです。

直井メソッド国語専門塾代表
直井明子さんの話（同書より）

今回は、この雑誌が提供する情報を切り口に、今日から始めた方がいい“国
語力を上げる毎日の取り組み”について皆さんと考えていきたいと思います。

変わる世界についていけないといけない

全国の公立高校の入試。国語の作文の出題パターンが、この10年で変わってきたことを示すデータが下の表です。



公立高入試 過去10年の作文の変遷、読み取り型作文の増加がわかる

好学出版調べ（同書より）

三重県は「基本的な作文」です。お題が与えられて、それに対して自由に書いていい、昔タイプの作文です。意見・感想についての是非は基本問わないので、作文のルール通りに頑張って文字を埋めれば、とりあえず得点できます。

この10年で、他県では「資料読み取り型作文」が幅をきかせてきています。グラフや表、あるいは文章が掲載されていて、それに基づいて「ある程度根拠のある答え」を書かせるタイプの作文です。

グラフや表に書いてある数字や、他の人の考えを、正確に抜き出して自分の作文に盛りこまないと得点にはなりません。今だと、高校3年生が大学入試の小論文で挑んでいるのと同じ出題形式です。

明らかに、学校が求める国語力のレベルが上がってきているのが伝わります。時代が変わろうとしているから、学校教育もついていこうとしているのです。

文法を、アウトプットする

・学んだ文法をアウトプットできず、正しい文が書けない。
・自分の頭の中の言葉を、相手に伝えるための文章として構成することができない。
・主観と客観の区別ができない。
・筋道だった説明ができない。

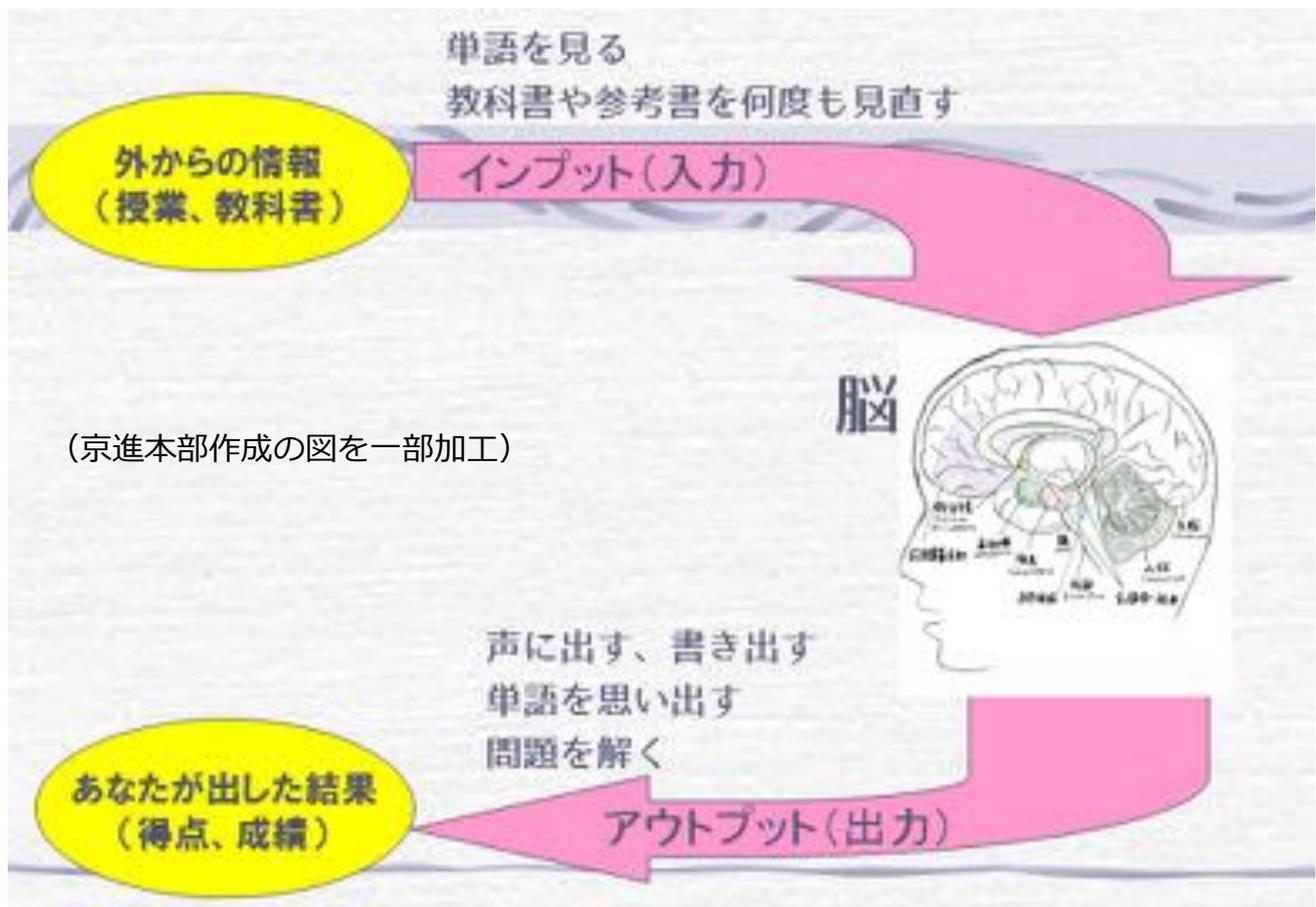
好学出版調べ（同書より）

文章が書けない、口で説明できない理由として挙げられるのが左の話です。

“学んだ文法をアウトプットする。”

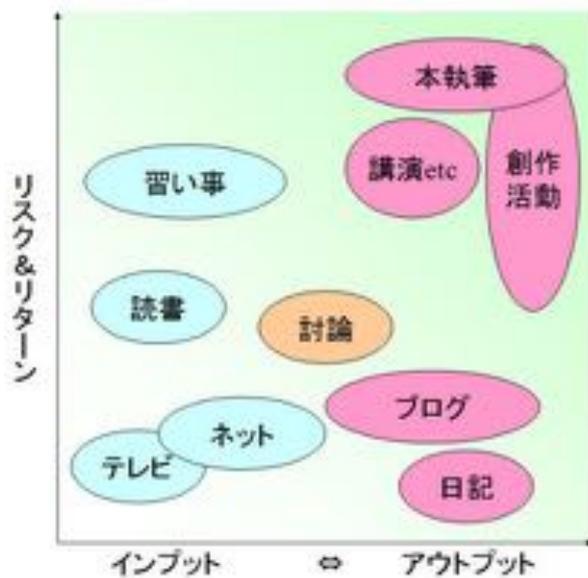
皆さんは、インプットとアウトプットという言葉
聞いたことがありますか？（塾に通われている方には、ぜひ知っておいてほしい考え方です）

元々はコンピュータ用語の入力（input）と出力（output）から来ていますが、今はビジネスや教育用語としても使われてきています。



（京進本部作成の図を一部加工）

他人から習ったことは、自分で会話で使うか、手を動かして紙に書かないと、いつまでたっても「他人の言葉」のままで「自分の言葉」にはなりません。



「MinamoBlog～ゲームと日常にトキメキを～」
<http://d.hatena.ne.jp/Minamo/20090111/1231708707>

もっと身近で分かりやすい例はないかなとネットで検索していたら、ゲームデザイナー/プログラマーの minamo さんの個人ブログに分かりやすい図があったので左に引用します。

ネット・テレビ・読書、そして塾もインプットなんです（見ているだけ、聞いているだけ）

本やプレゼン、作品を作ることは究極

のアウトプットですが、簡単な行動で言えば、日記やブログを書くこともアウトプットです。書きながら、自分の言葉を外にアウトプットしているので。

教室長自身の記憶の中で、あれやっていて良かったなと思うこともいくつかあります。ゲームに出てきた地図や建物を模写したり、ノートに自分地図を描いたり。その延長で、日本地図や世界地図を何回も描いていました。その上に国を書いたりして、国盗り合戦みたいなマイゲームをしていた記憶があります。勉強につながるなんて当時は考えもせず。でも、今でも描けるんですよ。頭で思い出すんじゃなく、手が覚えているんです。まさにアウトプット。

それで歴史が好きになって、自分の好きな時代の本を集めて、数冊の本から抜き出してオリジナル文章を書いたりする中で、いま思えば、本から情報をまとめる力や自分の文章力がついたと実感しています。

私はブログを描いていますし（仕事と趣味の2つ）、この校通信も考えながら毎月書いています。書きながら、書いている自分自身が一番内容を覚えます。

あたりまえですよ。でも、そうだとするなら、皆さんも読んだこと・聞いたことを、何かに書いてみる・誰かに話してみませんか？

書く と 話す なら、どちらが良いですか？

だから私は、生徒さんがブログや twitter や Youtuber になることは悪いことだとは思いません（ネットリテラシーは絶対に学ぶ必要がありますが）。

私小説や、黒歴史になるような独自研究（ゲームやドラマ、好きなアイドルとかでも良いんですよ。自分の好きなものをもっと深く書いてみる）なら、なお良いですね。長文を書くので、色んな言葉も文章表現も、はじめは他人のパクリですが、書いているとだんだん自分のものになってきます。恥ずかしいでしょうからコソコソすると思いますが、それでいいです。経験者としては、ぜひ続けてほしいと思います（笑）

私は子供のころ絵を描くことが好きで、トイレにこもっている時に指で空気に向かって絵を描いていました。ひまつぶしだったんでしょね。その癖、今でもやりたい時があり、やってみると、意外と子供の頃描いていた絵がまだ描けるんです（少し恥ずかしい癖を公開しました）。手癖ですよ。

でも言ってしまうと、自分がふだんしている行動が良くも悪くも癖になるわけで、だったら、良い癖をアウトプットしていけば、忘れたくても忘れないようになります。それが日本語なら、今日から書くか話すかで始められます。

また、学力が伸びない生徒さんの多くは、日本語の文法でつまづいています。英文法のように、明快にステップ式で文法を教えることで、効果的に国語の基礎を固めることが可能になります

日本語の文法。すでに小学校の国語でも勉強しています。こそあど言葉、てにをは、主語と述語、修飾語と被修飾語、品詞の種類、敬語など。

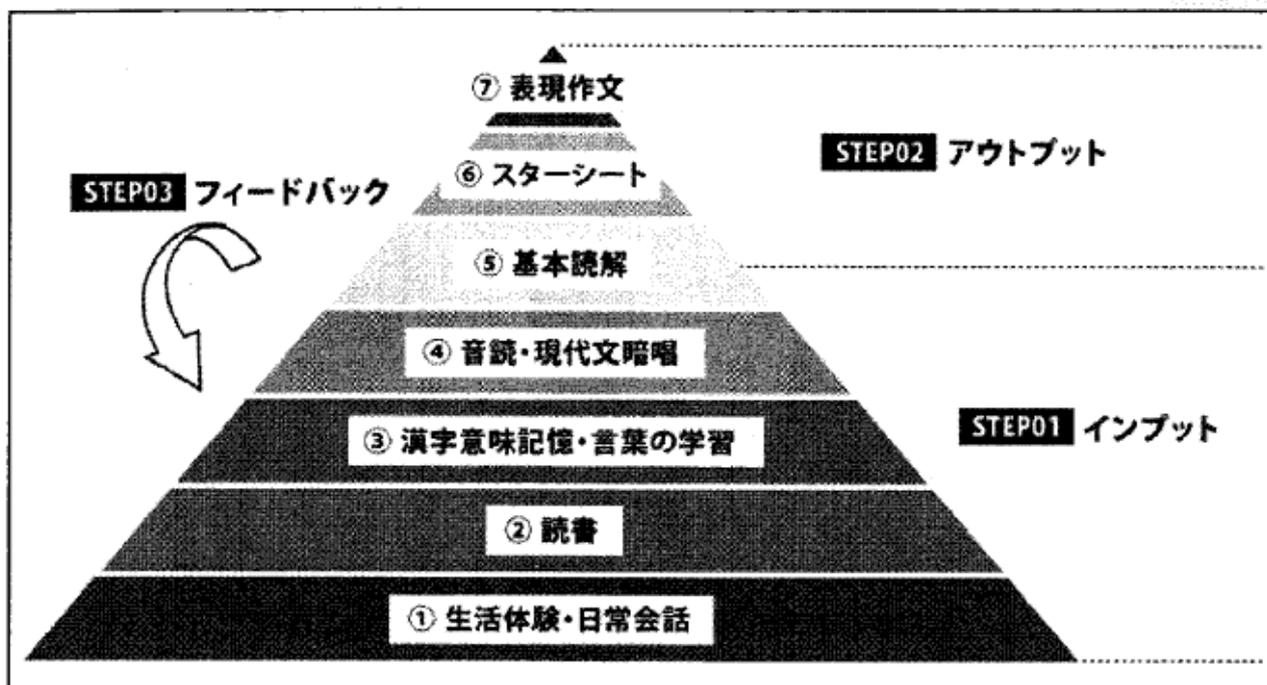
どこか遠い世界のことだと思っていないでしょうか？もしそう思っているとしたら、そこから意識を変えていきましょう！

直井明子さんの話（同書より）

これは、私たちがふだん使っている日本語です。

その日本語を、“こうしたらさらに正しい日本語が書けるよ”というルールが、国文法です。文法を習ったら、すぐに実際の生活で使いましょうよ。

学力の土台は勉強ではないということ。



直井明子さんが作った「国語力ピラミッド」(同書より)

上のピラミッドを見てください。国語力を伸ばすために、一番最初にするこ
とは「生活体験・日常会話」だといいます。

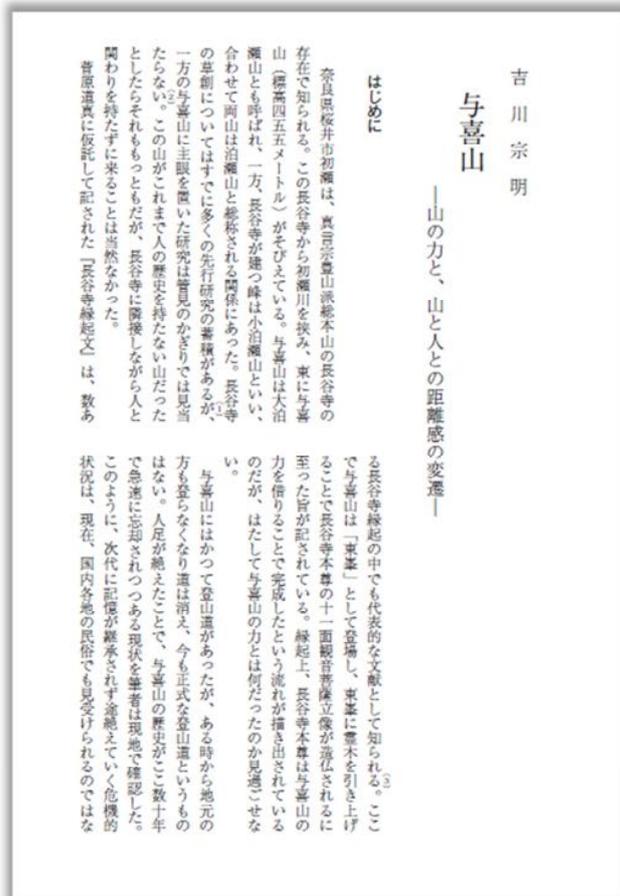
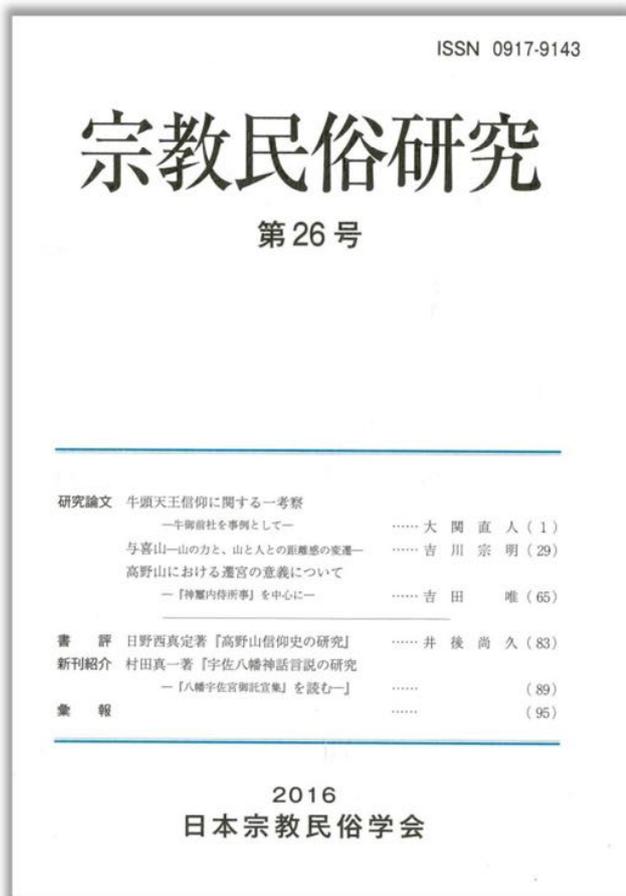
授業で鍛えるのも一つの対策とと思っているので、今年の夏期講習の国語では「文法」を最優先に置いて、カリキュラムを作りました(夏講提案済です)でも、文法を教えてもらっても、普段の生活でそれを使って(=アウトプット。話すか、文を書くか)くれないと、結局、その生徒さんの日本語力はパワーアップしません。

授業も有効ですが、それよりも「生活体験・日常会話」の中で、話す言葉、書く言葉、使う言葉を変えていくことのほうが、もっと国語力を伸ばすことにつながると確信しています。

習った言葉を、すぐに他の場所で使えばいいのです。“今日習ったこの言葉、
むりやり～に混ぜてみよう” この発想を胸に抱いて、今日から過ごしてほしいなあと。長々と書きましたが、これが教室長からの今月のお願いです。

教室長の論文が掲載されています

趣味の民俗学で 35 ページ文章を書きました。査読（さどく）と言って、専門の学者数名の審査を通ると掲載される学術雑誌です。



3 ページ前の図で言えば、本執筆/創作活動という究極のアウトプットです。教えるという職業につきながら、自分の文章力や思考力が衰えていないか？仕事の外の領域ではありますが、そんなことを意識できる機会です。そして、自己満足ではなく、誰かに評価されるような文になっているのか、チャレンジのつもりでもあります。

作文添削・小論文添削は大好きですが、それに限らず、生徒の皆さんが書きだした文章があれば何でもいいので見せてほしい。読書感想文や志望理由書、テストの時だけ文を書く「良くない癖」は止めにして、今日から文章を書きましょう。自分が好きなことでいいので。自分の好きなことが自分を助けます。



KPsystem- おやすみ！ 「ときわ」教室開校について

前回のあらすじー 6月から本格的にメール送信に舵をとりました。

私の元には、生徒・保護者・講師・(教室長)から直接連絡がないため、どうなっているかよく分からない状況です。(参考までに直営教室は未だにメールは禁止で電話かFAXのみです。)

まとまった数値から見ると、

講師の先生の帰社時間が早くなり、それに伴い職員の帰社時間も早くなった。

→働き方改革をとっても考えています。自営業や経営者の方なら分かると思いますが、本人が一番ブラック？なのではと・・・ 自身が働き方改革です。

それに伴い、他塾のようにしていることができなくなる、or 今後もしない恐れがあります。

・夏期講習の午前開校

大手集合塾では当たり前ですが、一体あの勤務体系はどうなっているのでしょうか??一説によると、当然講習分の手当は出るそうですが、クラスに一定の人数が集まらないと手当が出ないそうです。本当か嘘か・・・

手当が出てても、勤務時間は長時間になります。生徒の前では不満を言いませんが・・・集合塾は月謝で価格競争になるため、教材やテスト費が高かったり、季節講習でみんなが休みの時に集中的に売上・利益確保をしないと経営が難しい状態です。

・日曜日の開校や22時以降など

週7日空いている塾さんもあります。それは経営者一人でやっているようなところですよ。私もそのような方をしていますが、いやいや？されているかた、体調、精神を崩されている方を知っています。好きでされている方も、ワークライフバランスを考えれば、仕事をよりよくするための休みもできると思います。

松下幸之助は昭和40年に以下のように伝えていきます。(初めて週休二日導入企業)

「ただ2日休むわけではない」と述べ、1日はしっかりと休むが、残りの1日は自分を高める時間にあてる「1日休養、1日教養」と指針を示した。

いつか、週3日の時代も来るのではと思って、一人当たりの能率を上げたいと考えています。一見たくさん休めたり、労働時間減っていいなあと思われがちですが、労働時間内ですることの効率を上げないといけません。例えば、パソコンならショートカットキー覚えないと、努力していないと糾弾されれも仕方なしです。

-----ときわ教室開校について-----

・ご存知の方も増えてきかと思いますが、8月から場所を借りて、9月26日の開校に向けて準備をしております。

・開校場所はなぜかいつも忙しい時に出てきます。今回も父の仕事をするようになって分かった場所です。

・ホームページ内装工事金融機関まわりなど、システム開発は一旦スローへ

場所 〒510-0829 三重県四日市市城西町4-21



常盤小の近くのかまど屋の前とか、歌行灯の近くや、ランチ好きの主婦の皆様なら、ブルックの横の横ならどうでしょうか？

(右下の写真の場所です。)

・富田と富洲原を合計し方面積です。両教室とも広い場所に移転したいので、良い情報があれば教えてください。

- ・ 講師の募集をしています。
- ・ 実験的に時間割を30分ずらしたり、新規IT学習教材を導入します。

授業時間

	月	火	水	木	金	土
14:30 - 15:50	×	×	×	×	×	
16:00 - 17:20	×	×	×	×	×	
17:30 - 18:50	×					
19:00 - 20:20	×					
20:30 - 21:50	×					

もちろん、結果を見て両教室にフィードバックしていく予定です。



コツコツ読んで、教養アップ（特に若者？は花を知らない）
中学入試理科や国語でも（小説内に花が出ます）役立つかも。

アートフラワーとは私の母が毎月第1・第3月曜日に海蔵
地区センターで習っている。生地？を染色して、花を作っ
ています

今月のアートフラワー 第42回 マーガレット



和名、モクシュンギク（木春菊）あまり使わない。

キク科の年耐寒性多年草

主に温室、ビニールハウスで栽培。

カナリア諸島が原産地。17世紀末に欧州に渡る。

日本には明治時代末明に伝わり大正時代から幅広く栽培。3～7月に白、黄、ピンク。八重、丁字咲きものもある。

本来は宿根草、日本では温暖地でないと越冬出来ない。フランスギクのシャスターデージーとよく混同される。

何年も越冬できて大樹になってくると茎が木質化し低木のようになる。

花言葉、恋を占う、心に秘めた愛。

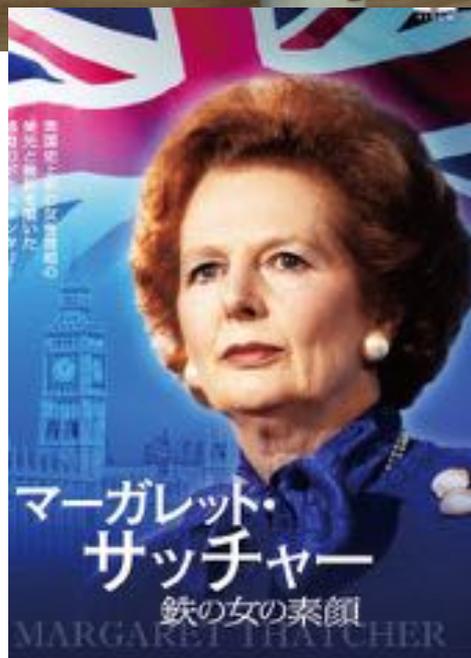
よく出てくる言葉

一年草

一年のうちに初芽から開花結実までのサイクルが
終わる草花のこと。

生育スピードが早く花が咲いた後は枯れる。

管理が簡単。初心者向き。



いい映画でした。 一名言を おっ！ 仮定法！！ 高校2年生以上なら分かるね！

If you just set out to be liked, you would be prepared to compromise on anything at any time and you would achieve nothing.

好かれようとしているだけなら、いつでも何でも妥協する用意があり、何も達成しないだろう。